

平成28年度事業報告書

平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ソーシャルフットボール協会

1 事業の成果

今年度は国内各地で当会会員が中心となって運営する大会等の主催、共催、運営協力、後援等をおこなった。そのようなことから活動が全国的に広がりを見せ、精神障害者フットサルの普及及び競技人口の増加に繋がったと思われる。また、今年度は全国大会、国際大会に実施はなかったが、29年は全国大会を2日にわたり開催するので、競技人口増加でますますの発展が予想されると思われる。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額（千円）
(1) 精神疾患及び精神障がいをもつ人を対象とするフットボール全国大会等の開催	ソーシャルフットボール大会各地域予選会	5月～3月	東京・四国・北陸・甲信越・関東・東海・九州 北海道・東北	120名	精神疾患・障がいをもつ人および観客 950人	
(2) 一般市民と精神疾患・障がいをもつ人がともに楽しむフットボール大会等の開催	疾患・障害の有無を超えて結成されたチームの参加、精神疾患・障がいをもつ人のチームと一般市民のチームが分け隔てなく対戦するバリアフリー大会等の開催	7月・3月	北海道・京都	20名	市民・精神疾患を持つ人、観客 450人	0
(3) 選手の育成及び技術向上のためのフットボール教室等の開催	フットボール初心者への入門教室や経験者・上級者のスキルアップのためのクリニック等の開催	実施なし			精神疾患・障がいをもつ人	0
(4) 関係機関との協力・協働による講演会等の実施	「日本各地の活動報告」講演会・シンポジウムの開催	実施なし			市民・精神疾患・障がいをもつ人	0
(5) 国際的な交流事業や国際大会の実施	国際大会開催に向けた交流事業	実施なし			市民・精神疾患・障がいをもつ人	0
	ソーシャルフットボール国際大会	実施なし			イタリア、ペルー日本の精神疾患・障がいを持つ人及び支援者、他	0
(6) 普及啓発のためのホームページ等の運営	ホームページによる情報の発信	通年	事務所	5名	市民・不特定多数	